

生活環境課の取り組み

燕市の概要

燕市は新潟県のほぼ中央に位置し、北陸自動車道と上越新幹線の二大高速交通機関の接点を持ち、さらに国道116号と国道289号・JR越後線とJR弥彦線が、それぞれ交差する交通の要衝となっています。

市内には、信濃川や大河津分水路をはじめ、中ノ口川、大通川、西川など多くの河川や、東に越後連山、西に佐渡弥彦米山国定公園「弥彦山」「国上山」など、美しい自然環境に囲まれ、名僧「良寛」が30年間暮らした、五合庵・乙子神社草庵や越後最古の名刹・国上寺などの史跡が数多く残っています。

年	気温 (°C)			降水量 (mm)	
	平均	最高	最低	降水量 (mm)	
				年間降雨量	日最大
R3	14.2	39.1	-5.9	2261.0	88.0
R2	14.6	40.4	-3.8	2270.0	94.0
R元	14.4	40.0	-2.6	1863.0	96.0
H30	14.1	40.4	-8.4	1789.5	50.0
H29	13.4	38.1	-5.3	2355.0	123.5

年度	人口 (人)			世帯数
	男性	女性	合計	
R3 (12月 末時点)	38,150	39,944	78,094	30,416
R2	40,141	38,198	78,339	30,223
R元	38,533	40,400	78,933	29,894
H30	38,778	40,604	79,382	29,540
H29	39,148	40,943	80,091	29,240

カンカンBOOK・福服BOOK事業（資源ごみ回収・子育て支援連携事業）

カンカンBOOK事業

市内事業所から飲用のアルミ缶・スチール缶を寄附していただき、その売却益で保育園やこども園の絵本などを購入する事業です。

項目	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年
協力事業所数	15	16	20	21	25
売却量	2,800kg	3,660kg	3,060kg	2,500kg	2,270kg
売却益	245,428円	335,690円	251,402円	189,311円	321,498円
絵本購入数	229	312	296	199	未定
贈呈施設数	21	20	19	17	未定

●福服BOOKのぼり旗



●贈呈図書ラベル



福服BOOK事業

市民より着なくなった洋服等を寄附していただき、その売却益で保育園やこども園の絵本などを購入する事業です。

※1 福福BOOKは新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年4月1日より休止中。

項目	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年
回収場所	燕庁舎 駐車場	市役所 駐車場	市役所 駐車場	市役所 駐車場	市役所 駐車場
回収日	4月～11月 の 毎週日曜日	毎日	毎日	毎日	毎日
回収時間	9:00～ 15:00	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00
拠点回収	5回	6回	4回	中止	中止
回収量	45,280kg	67,540kg	106,465kg	44,825kg※2	36,830kg※1
売却益	45,280円	67,540円	106,465円	44,825円※2	36,830円※1



贈呈式の様子(平成30年度)

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年5月1日～12月31日は収集休止



トリクロロエチレンの排出抑制にむけた取り組み

◆背景

県央地区は全国的に見ても金属加工業等が多く集積しており、金属製品に残った研磨剤の除去や脱脂洗浄にトリクロロエチレンが広く用いられています。全国のトリクロロエチレン使用量のうち約10%を燕市内の事業所が占めている一方で、使用事業所では適切な取扱いや危険性についての認識が不足している状態となっています。

◆トリクロロエチレンとは

無色透明の液体でクロロホルムに似た臭いを有する。

用途としては脱脂力が強いため、半導体産業での洗浄剤やクリーニング剤と使用されているが、発癌性が指摘されています。

◆環境基準とは

トリクロロエチレンは、法律に基づいて環境基準が定められており、1年間の平均が $130\mu\text{g}$ /立方メートル以下と定められています。新潟県では毎月市内において常時監視1地点の他に、重点監視3地点でモニタリング調査を実施しています。

◆燕市の排出抑制に向けた取組（燕市商工振興課）

環境負荷低減支援事業

指定機関が実施する資格認定講習等の受講料の一部を補助します。

専門家派遣支援事業

公益財団法人にいがた産業創造機構が実施する生産工程の環境対策に資する専門家派遣事業を受ける際に要する負担金の一部を補助します。

設備改善資金支援事業

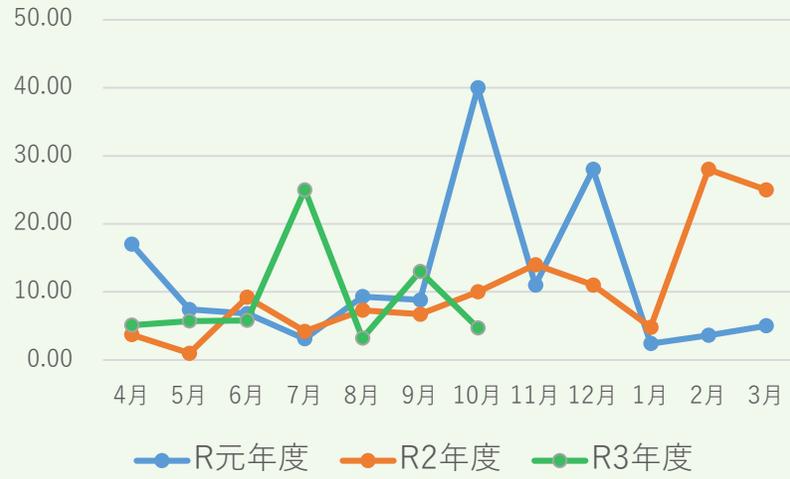
専門家の診断に基づいて実施する環境負荷低減のための設備投資に要する費用の一部を補助します。

◆これまでの取組

- 排出抑制対策や県央地域事業者の対策例などを取りまとめた【トリクロロエチレン排出抑制に向けた自主的取り組みガイドライン】の策定
- 排出抑制対策などをまとめた【排出抑制に関するリーフレット】の配布
- トリクロロエチレンを取り巻く現状と排出抑制技術に関する知識の普及を図る【排出抑制説明会】の定期的開催
- 【燕市トリクロロエチレン排出抑制検討会】の設置
事務局：燕市商工振興課 燕市生活環境課
委員：業界団体 販売事業所 検査機関
オブザーバー：新潟県県民生活・環境対策部環境対策課
三条地域振興局環境センター s

トリクロロエチレンの測定結果の推移

常時監視地点（中央公園内）

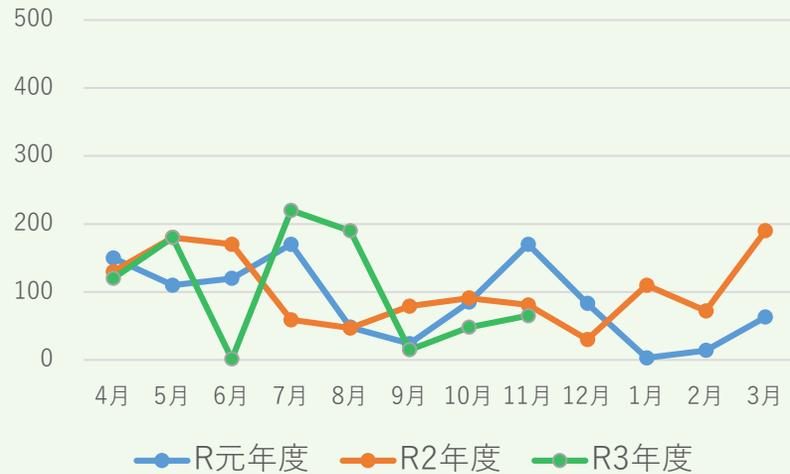


有害大気汚染物質モニタリング調査

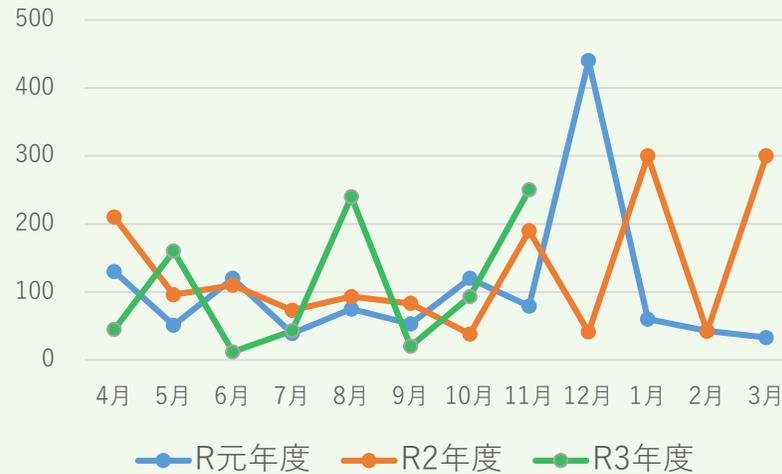
		R元年度	R2年度	R3年度 (R3.11月測定までの 平均値)
常時監視地点 (中央公園内)		12	10	8
重点監視地点	蔵関事業所周辺	86	100	104
	東公民館内	100	130	107
	南ポンプ場内	59	110	58

※トリクロロエチレン 環境基準値: 年平均値=130以下(年=1,560) 単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$

重点監視地点（蔵関事業所周辺）



重点監視地点（東公民館内）



重点監視地点（南ポンプ場内）



燕市内における公害防止活動

毎月1回、燕地区の南町排水路の2地点(南公民館脇、少年野球場脇)で水質の測定を行いました。
また、騒音常時監視として、環境騒音・自動車騒音測定を2地点と高速道路騒音測定を6地点で行いました。

◆騒音調査状況

①環境騒音、自動車騒音測定(2地点)

調査地点	調査月日
東太田地内	11/16～11/17
分水桜町2丁目地内	11/17～11/18

②高速道路騒音測定(6地点)

調査地点	調査月日	調査地点	調査月日
井土巻地内	7/26～7/27	八王寺地内	7/19～7/20
又新地内	7/20～7/21	三王淵地内	8/19～8/20
八王寺地内	7/7～7/8	関崎地内	9/9～9/10

③測定方法ならびに測定結果

測定回数	年1回、24時間測定	
測定場所	環境騒音2地点、高速騒音6地点	
環境基準	昼	70デシベル(6時～22時)
	夜	65デシベル(22時～6時)
測定結果	全地点において環境基準を超えなかった	

◆南町排水路水質検査状況

検査項目	基準値 (PPM)	測定結果
ジクロロメタン	0.02	環境基準 オーバーなし
1,1-ジクロロエチレン	0.10	環境基準 オーバーなし
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	環境基準 オーバーなし
1,1,1-トリクロロエタン	1.00	環境基準 オーバーなし
トリクロロエチレン	0.01	環境基準 オーバーなし
テトラクロロエチレン	0.01	環境基準 オーバーなし

◆特定事業所騒音・振動立入実態調査

(燕市公害防止事業協同組合と連携して実施)

調査機関	対象工場	騒音調査数	振動調査数
10月～12月	21社	20社	20社



災害廃棄物処理計画

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、膨大な災害廃棄物の発生に加え、津波による処理の困難性が加わり、廃棄物の処理や生活基盤の再建に多大な影響を及ぼしました。また、近年、自然災害が多発・激甚化しており、全国各地で大規模地震や集中豪雨により膨大な災害廃棄物が発生している状況であり、本市においても広い地域が強い揺れに襲われたり、浸水することが予測されます。

このような災害で発生する災害廃棄物は、種々の廃棄物が混合した処理しづらい性状のものが一時に大量に発生すること、人の健康又は生活環境に係る被害を生じるおそれがあること、仮置場における火災発生のおそれがあること等とともに、感染症発生等の二次被害を防止する必要があります。生活環境の保全及び公衆衛生上の支障を防止し、災害廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理しなければならないことから災害廃棄物処理計画を今年度中に策定します。

【仮置場】

仮置場は、災害廃棄物を分別、保管、処理するために一時的に集積する場所です。被災した家財を含む災害廃棄物の速やかな撤去、処理・処分を行うために設置します。

燕市では、3地区それぞれに3から4ヶ所の候補地を考えています。

【平成28年熊本地震の例】

片付けごみが道路まではみ出しており、交通の障害になっています。



【仮置場の例】

(場所：福岡県朝倉市甘木仮置場：約3,000㎡)



食品ロス削減

【食品ロス】とは、本来食べられるにもかかわらず捨てられている食品のことです。

農林水産省及び環境省の平成30年度推計では、食品ロスは600万トンとなり、国民一人当たりで換算するとお茶碗約1杯分（約130g）の食べ物が毎日捨てられていることとなります。

◆食品ロス削減推進法(令和元年5月24日法案可決 5月31日公布 10月1日施行)

◆食品ロスの削減に関する基本的な方針(令和2年3月31日閣議決定)

◆これまでの取り組み

- 啓発物品(箸:寄贈品)とチラシの配布
- 食育だより、給食だよりで食品ロスに関する記事を掲載
- 食品ロスの削減PRパネルの設置
- 農業まつりでのアンケート実施
- 食品ロス削減の講話
- 庁内調整会議の開催
- 市民アンケートの実施
- 広報つばめ(2019年12月号)に特集記事(マンガ「食品ロスの削減」)を掲載



◆今後の取り組み

まちづくり市民アンケートの結果を踏まえ、「計画策定の意義」と「家庭系食品ロス」に重点を置きながら、飲食店などの事業者へも削減に向けた情報提供や啓発活動を行う食品ロス削減推進計画を策定予定。

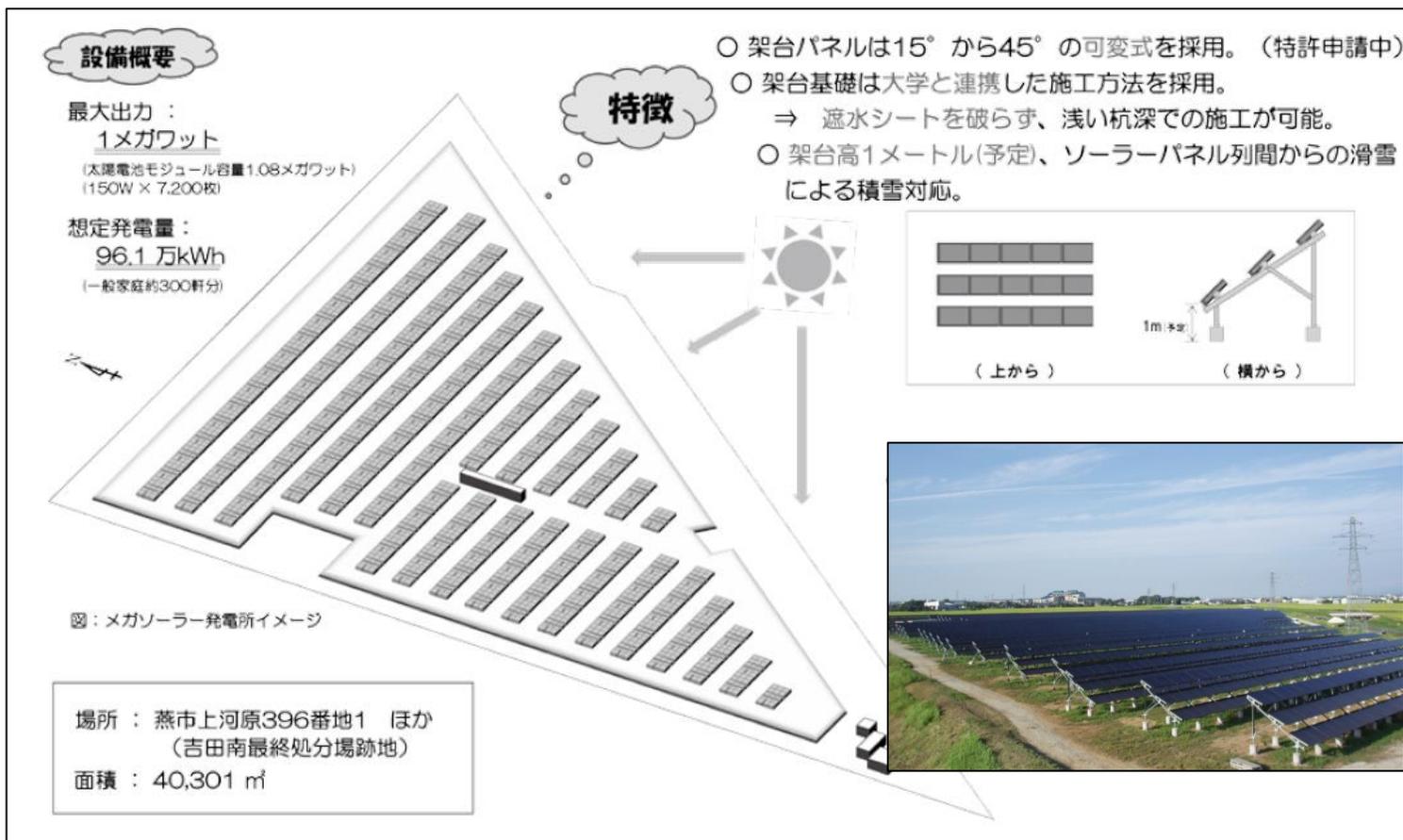
燕市が行っているエネルギー関係事業①

◆メガソーラー建設事業

最終処分場跡地の再利用と災害時における電力の安定供給や市民の環境意識の高揚を図ることを目的にメガソーラー発電所を建設しました。

◆施設の概要

- 施設名
メガソーラーTUBAME site
- 場所
燕市上河原396番地1
- 発電事業者
PVP JAPAN株式会社
- 敷地面積
40,301㎡ (実利用：20,000㎡)
- 最大出力
1,000KW
- 太陽電池モジュール
ソーラーフロンティア社製
150W×7,200枚
175W×1,200枚 (H29年度増設)



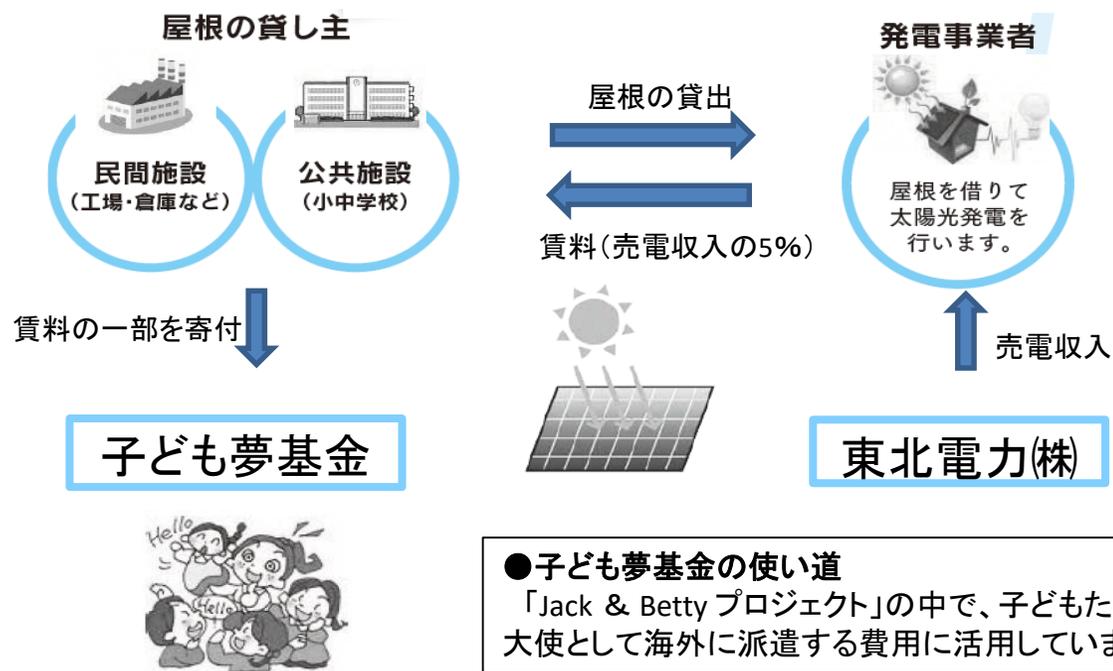
燕市が行っているエネルギー関係事業②

◆燕子ども応援☀️おひさまプロジェクト

この事業は、屋根を貸してくれる事業者とその屋根を借りて発電事業を行う発電事業者を募集して、両者のマッチングを図ることで太陽光発電を普及し、再生可能エネルギーの利用拡大に取り組みです。

さらには、未来を担う子どもたちを育てるため、太陽光(おひさま)から得られた収益の一部を屋根を貸してくれた事業者から「子ども夢基金」に寄付していただき、この燕から世界にはばたく子どもたちを応援しようという取り組みです。

燕子ども応援☀️おひさまプロジェクトの仕組み



屋根貸し施設一覧

区分	貸し出す屋根	区分	貸し出す屋根
民間施設	三宝産業(株)	公共施設	小池小学校
	新潟ステンレス加工(株)		小中川小学校
	吉田金属工業(株)		吉田南小学校
	森井紙器工業(株)		分水小学校
	和平フレイズ(株)		燕中学校
公共施設	燕東小学校	公共施設	燕北中学校
	燕南小学校		吉田中学校
	燕北小学校		分水中学校

環境美化イベント

クリーンアップ選手権

「I ♥ Tsubame・Clean up in 燕」（日本一きれいで輝く街を目指して！）の活動事業の一つとして、ごみ拾いに競技性を持たせ楽しく参加していただきながら、地域の環境やごみ問題に対する意識を高めること。また、まち歩きを通じて、風景などを楽しみながら地域の良さを新発見、再発見することを目的として開催している。

年次	参加数	
	チーム数	人数
R3	新型コロナウイルス感染拡大により中止	
R2	新型コロナウイルス感染拡大により中止	
R元	47	174
H30	51	188
H29	75	312

※H29年度は2回開催

クリーンデー燕

クリーンデー燕は、地域の市民と子供たち、また、ボランティアの人々や団体が市内全域のごみ拾いや草刈りを一緒に行うことで交流するとともに、清潔で美しいまち燕の実現と環境美化意識の高揚を図ろうとするものです。

年次	参加数			
	春		秋	
	団体数	人数	団体数	人数
R3	130	4795	124	3712
R2	135	5881	133	4445
R元	143	6364	140	5582
H30	152	7036	142	4119
H29	147	6373	140	5901

『Let's Try Eco啓発ポスターコンクール』

このコンクールは、越後吉田ライオンズクラブ・燕ライオンズクラブと共催で生活に身近な、みんなで取り組める環境保全活動を一層推進していくため、市内の小学4年生を対象にポスターを募集するもので、「ゴミの減量」「リサイクル」「省エネ」「環境破壊や汚染の防止」などをテーマにしています。今年度は市内14校から485名の児童から応募をいただきました。

【市長賞】



【表彰式の様子】



自治会への補助金

薬剤購入補助金

一自治会につき、同一年度内において50万円を上限に、自治会で実施する衛生害虫駆除事業にかかる薬剤の購入費を補助します。

年次	実績	
	申請数	金額
R3	119	7,571,000
R2	123	7,662,000
R元	127	7,709,000
H30	140	7,883,000
H29	148	8,614,000

ごみステーション設置事業補助金

ごみ収集場の衛生及び美観の維持向上並びに収集業務の能率化を図るため、自治会が行うごみステーション設置に要する経費の一部に対して補助します。

年次	実績	
	設置基数	金額
R3	45	2,137,000
R2	27	1,225,000
R元	28	1,272,000
H30	16	681,000
H29	32	1,292,000

合併処理浄化槽転換促進補助事業

人口減少や高齢化などの社会情勢や厳しい財政事情等により、汚水処理施設の整備を取り巻く情勢が大きく変化したことを受け、燕市においても、集合処理区域として下水道整備を実施する区域及び個別処理区域として合併処理浄化槽で整備する区域を明確に分類するとともに、早期の汚水処理施設の概成を目指す「燕市汚水処理施設整備構想」を策定しました。

これを受けて、個別処理区域において、単独処理浄化槽や汲み取り式トイレから合併処理浄化槽に早期の転換を促すため、令和元年度から設置工事費等の一部を補助する制度の創設しました。

また、国から、令和元年度予算において、新たに宅内配管工事費も助成する方針が示されたことから、本市としても、国の制度改正に合わせて合併処理浄化槽への転換促進補助制度を創設しました。

◆補助対象者

個別処理区域において、住宅で使用している単独処理浄化槽またはし尿汲み取り便槽を合併処理

浄化槽（環境配慮型浄化槽※）に設置換えする方。

※ 消費電力基準、環境性能等の環境省の定める要件を満たす浄化槽

◆補助金のイメージ（7人槽の場合）

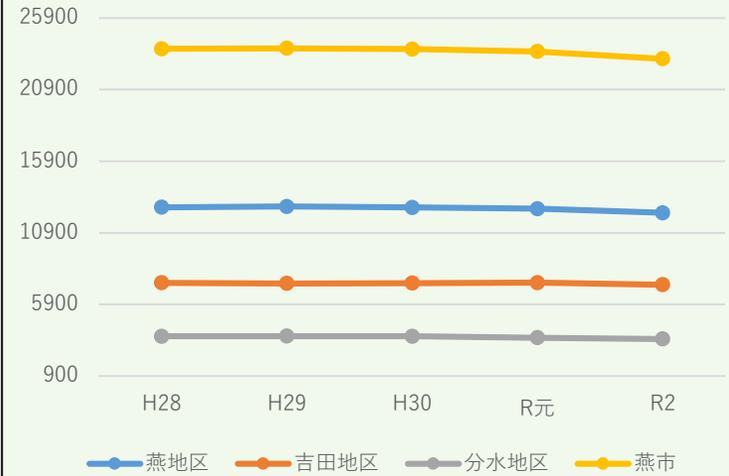


◆燕市合併処理浄化槽転換促進補助事業実績

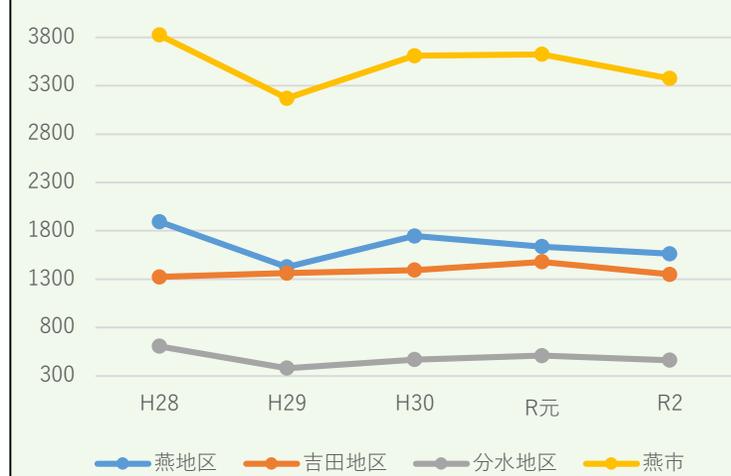
年次	補助件数		補助金額
	単独入替	汲み取り入替	
R3	35件	7件	31,001,000円
R2	24件	0件	19,407,000円
R元	21件	5件	19,048,000円

ごみの収集量の推移①

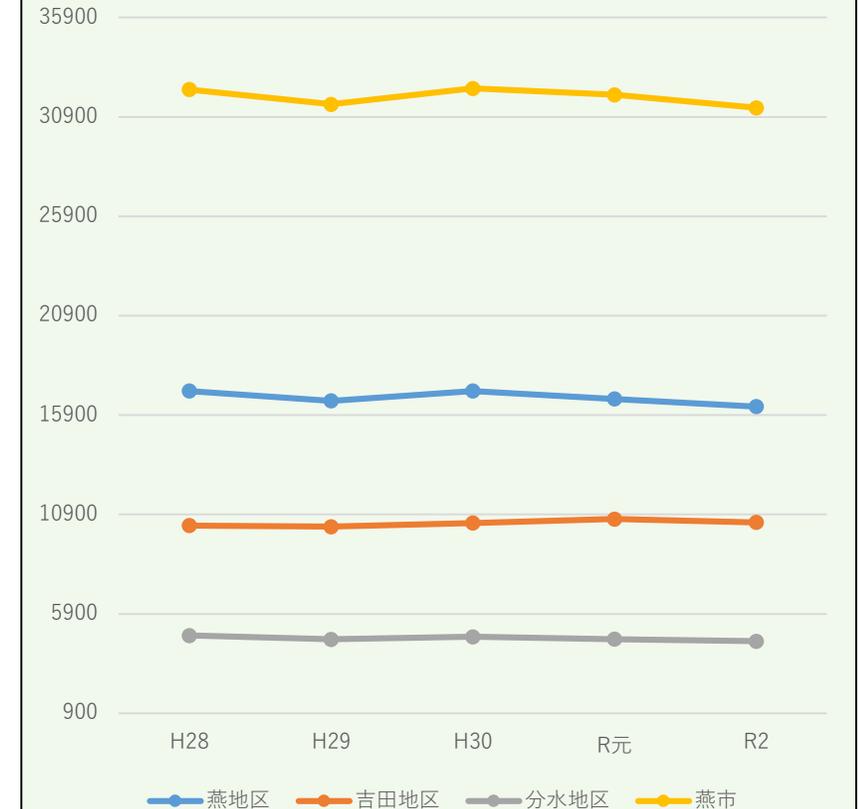
年間の可燃ごみの総量



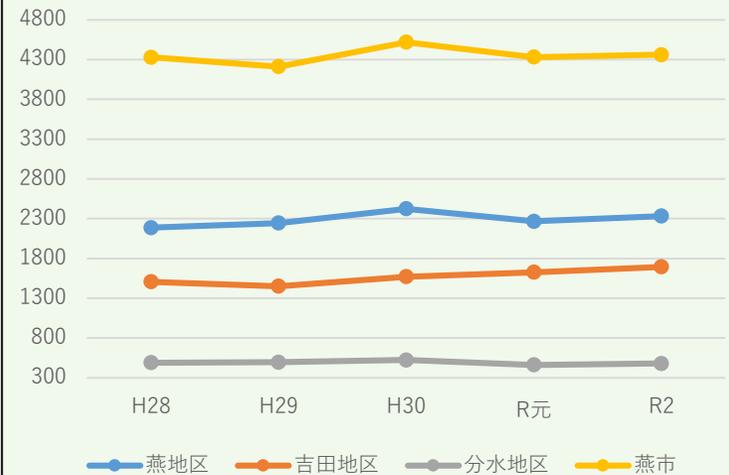
年間の不燃ごみの総量



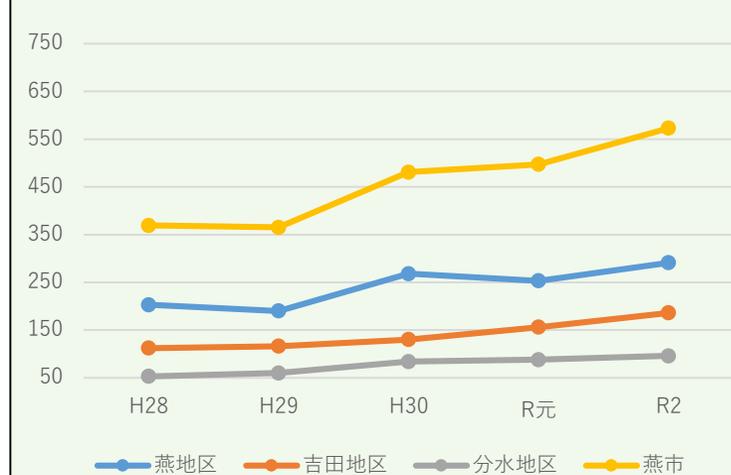
年間のごみの総量



年間の資源ごみの総量



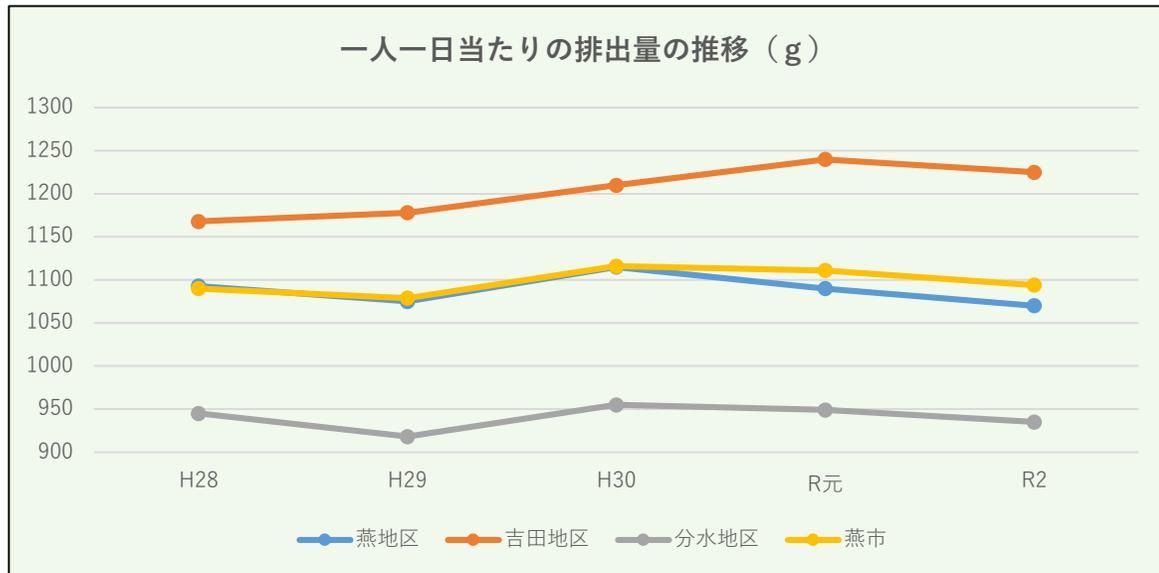
年間の粗大ごみの総量



ごみの収集量の推移②

年次	燕地区						吉田地区						分水地区						燕市					
	可燃(t)	不燃(t)	資源(t)	粗大(t)	合計(t)	一人一日当たりの排出量(g)	可燃(t)	不燃(t)	資源(t)	粗大(t)	合計(t)	一人一日当たりの排出量(g)	可燃(t)	不燃(t)	資源(t)	粗大(t)	合計(t)	一人一日当たりの排出量(g)	可燃(t)	不燃(t)	資源(t)	粗大(t)	合計(t)	一人一日当たりの排出量(g)
R2	12,291	1,563	2,187	291	16,332	1,070	7,274	1,349	1,695	186	10,504	1,225	3,484	463	480	96	4,523	935	23,050	3,375	4,362	573	31,360	1,094
R元	12,577	1,636	2,245	253	16,711	1,090	7,413	1,479	1,625	156	10,673	1,240	3,571	510	462	88	4,631	949	23,563	3,625	4,331	497	32,016	1,111
H30	12,673	1,747	2,424	268	17,112	1,115	7,381	1,394	1,571	130	10,476	1,210	3,672	469	524	84	4,749	955	23,726	3,610	4,519	481	32,336	1,116
H29	12,738	1,427	2,266	190	16,621	1,075	7,363	1,362	1,450	116	10,291	1,178	3,683	380	496	60	4,619	918	23,784	3,170	4,212	365	31,531	1,079
H28	12,681	1,894	2,333	203	17,111	1,093	7,403	1,324	1,506	112	10,345	1,168	3,666	607	490	53	4,816	945	23,751	3,825	4,330	369	32,275	1,090

※R2とH28はうるう年



◆人口の推移 (人)

	燕地区	吉田地区	分水地区	総人口
R2 (2021.3.31)	41,698	23,428	13,213	78,339
R元 (2020.3.31)	41,990	23,572	13,371	78,933
H30 (2019.3.31)	42,038	23,726	13,618	79,382
H29 (2018.3.31)	42,364	23,939	13,788	80,091
H28 (2017.3.31)	42,783	24,206	13,920	80,909

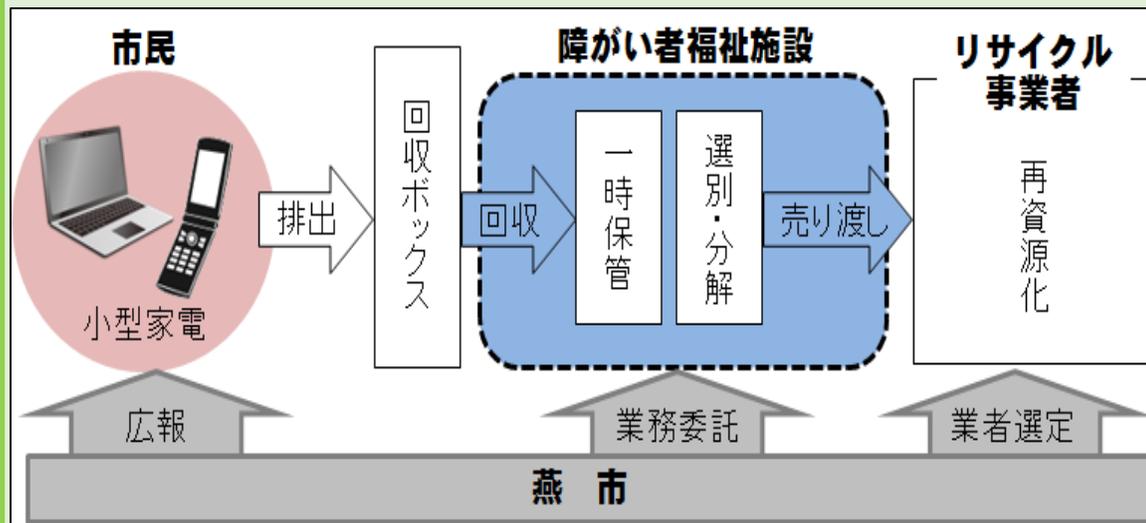
障がい者就労支援業務

小型家電リサイクル業務

小型家電製品に含まれる有用金属（金・銀・銅など）の再資源化と不燃ごみの減量化を図るため、使用済小型家電製品の回収を行っています。

小型家電の回収・分解は、燕市の障がい者福祉施設に委託し、回収・処理を行っています。

回収・分解からリサイクル事業者への売却までを障がい者福祉施設が行い、障がい者の就労支援に繋がります。



ペットボトル分別業務

燕・弥彦総合事務組合のストックヤード（一時保管所）内において、資源ごみとして回収されたペットボトルの中から、キャップや異物などを取り除き、容器包装リサイクル協会が定める引取品質ガイドライン（Aランク）に適合させて引渡し品質の向上を図るとともに、障がい者の就労につながる支援として障がい者施設等に業務を委託しています。



燕市衛生センター基幹的設備改良事業

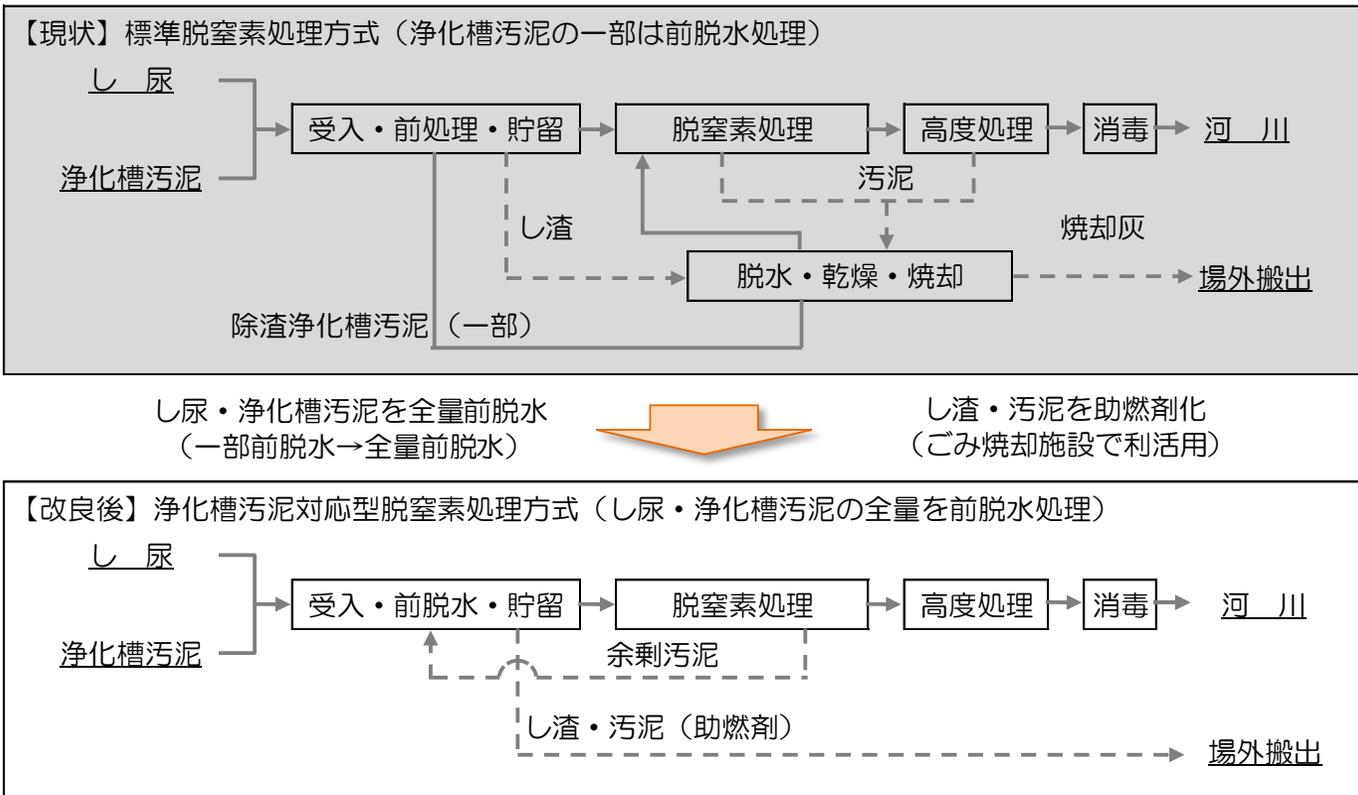
燕市衛生センターは、平成8年の稼働開始から25年が経過し、機械設備のほとんどが一般的な耐用年数を超えつつあり老朽化が懸念されています。また、浄化槽汚泥搬入量の増加や性状の変化により汚泥処理が不安定な状態になり、乾燥・焼却設備への負荷が高い状態にあります。このことから、浄化槽対応型処理方式へ変更し、老朽設備の改修・更新や乾燥・焼却設備を撤去し、さらに汚泥の資源化などを実施し、施設の延命化を図ることとしています。

【スケジュール】

	R2	R3	R4	R5	R6
施設整備に係る基礎調査	↔				
個別施設計画策定	↔				
生活排水処理基本計画策定		↔			
循環型社会形成推進地域計画策定		↔			
長寿命化総合計画(延命化計画)策定		↔			
生活環境影響調査			↔		
事業者選定			↔		
施設整備工事(設計・施工管理)				↔	
長寿命化総合計画(施設保全計画)策定					↔

- 延命化期間・・・令和7年度から約15年間を予定
- 乾燥・焼却設備を廃止
- し渣・汚泥を助燃剤化(ごみ焼却施設で利活用)

【フローシート】



狂犬病予防集合注射

狂犬病とは

狂犬病は犬だけの病気ではなく、人を含むすべての哺乳類に感染し、発病すると治療法はなく、ほぼ100%死に至る大変恐ろしい病気です。日本では1956年以降の発症は確認されていませんが、世界では現在も年間59,000人の人が発症しています。

狂犬病予防注射

生後90日を経過した犬を飼育する人は、生涯1回の登録と年度ごとに1回の狂犬病予防注射の接種が法律で義務づけられています。(狂犬病予防法)

狂犬病予防集合注射

燕市では、毎年4月に市内15か所で狂犬病予防集合注射を行っています。
令和2年度は1,355頭の犬に予防注射を接種しました。

年度	登録数	接種済数	接種率
R3	3,061	2,681	87.6
R2	3,081	2,897	94.0
R元	3,298	3,006	91.1
H30	3,392	3,102	91.5
H29	3,451	3,141	91.0